吉本興業が目指すもの 未来社会における「人の笑顔」

すべての人が自分らしく生きていけるように。笑いを「心のインフラ」に。

劇場での笑い、テレビでの娯楽の提供を超えて、吉本興業は笑いやエンタテインメントで人と人を笑顔でつなぎコミュニティを豊かにしていきたいと考えています。人材育成、地域活性、そして産業の創出。笑いが「心のインフラ」となる。こうした仕組みを創り上げることが、吉本興業の社会的役割と捉え、人びとの笑顔の輪を世界中に拡げていきます。

吉本興業が目指すもの

未来社会における「人の笑顔」を多面的な視点から捉え、4つのテーマのもと推進します。

1 健康と福祉

だれでも参加できる、助け合える世界を

社会課題を解決するだけでなく、エンタテインメントを通じ人と人がつながり、生活を豊かにできる取り組みを考えます。

よしもとお笑い介護レク ～オンライン～

地域の介護施設が取り組んでいる、被介護者への認知症予防や健康維持等ADL（日常生活の動作）やQOL（生活の質）の向上を目的に実施されている介護レクリエーションをお手伝いするため、ニューノーマルに対応した安心・安全で質の高い、オンラインによる「笑い」あるサービスコンテンツ「よしもとお笑い介護レク～オンライン～」の提供を開始。

2 地域創生

多様性と相互理解の促進

日本国内の地域のリソースの発掘と社会問題の解決に向けた取り組みを推進するとともに、量的拡大ばかりでない新しい価値の創出に貢献します。

よしもとエリアアクション「住みますプロジェクト」

97組142名の〝住みます芸人〟が47都道府県に実際に住んで、地域を盛り上げていこうという全国プロジェクト。高齢化、人手不足、過疎、格差など、地域社会が抱える問題を、一過性のボランティアではなく収益を上げながら持続可能な形で解決していく取り組みで吉本芸人ならではのアイデアや発想を現地で具現化しています。

YOSHIMOTO よしもと住みます芸人

3 学び

夢の創造と未来を担う人の育成

一人ひとりが幸せになれる未来社会をみんなで考え、一緒につくっていくムーブメント。次の時代に向けた若年層の夢を引き出し、未来を担う人材を育てていく。

ラフ&ピースマザー

2021年3月にオープンした「遊びと学び」のコンテンツを配信する新たな知育・教育アプリ。SDGs目標の第4項『質の高い教育をみんなに』の実現に向けて自社の人気お笑い芸人や子どもたちに大人気な話題の動画クリエイターによるムービーや、算数や国語、プログラミング等のゲームアプリ、さらに、有識者、スポーツ選手、タレント、お笑い芸人らが講師を務めるオンライン教室まで、楽しく学べるコンテンツを提供。

ラフ&ピースマザー LAUGH&PEACE MOTHER

4 パートナーシップ

パートナーのリソース共有の仕組みづくり

笑顔をつなげる未来社会に向けてエンタテインメントの力で人と人をつないで、活かしあうことでこれまで気付かなかった自社のリソースの適用や新しい機能やニーズ、アイディアにつなげています。

東京大学×吉本興業「笑う東大、学ぶ吉本プロジェクト」

国立大学法人東京大学と吉本興業株式会社は2021年3月、東京大学の「知」と吉本興業の「エンタテインメント」を掛け合わせた「笑う東大、学ぶ吉本プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトは、2025年大阪・関西万博、その先のSDGs目標達成年次の2030年を見据えながら、学術とエンタテインメントの積極的な対話、協働を推進し、持続可能な新しい価値の創出と未来への提言を目指しています。

SDGsへの取り組み

吉本興業は、国際社会の一員として、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し「笑顔」につなげる活動を通じて、より良い国際社会の実現に貢献・応援いたします。

（吉本興業ホールディングス ホームページより）

吉本興業HD元代表取締役会長

大﨑 洋氏と西川雅夫との出会い

内閣府認証NPO法人JMCA理事長

私と大﨑氏との出会いは、5年前に、大阪商工会議所の年末の恒例講演会で大﨑氏のご講演を聞かせていただき、そのあとの懇親会で私の発売したばかりのCD『なんでやねん 平成数え唄』の話で盛り上がったことを覚えています。

その後、2020年7月に内閣府認証NPO法人ジャパンメディカルケアアソシエーション（JMCA）の理事長に私が就任したことをきっかけに、SDGsの趣旨に賛同して、JMCAを応援指導していただけるアドバイザリーボードの一人として大﨑氏にお願いしたところ、即座にご快諾いただき、大変感謝しております。

そして、この度大阪万博こと、2025年日本国際博覧会協会が新たに設けた大阪・関西万博催事検討会議の共同座長に就任され、期せずして吉本興業ホールディングス株式会社の代表取締役会長を辞任されるという、即座に決断される意思決定の速さには、驚くばかりです。

さらに、最近発刊された著書『居場所』で表現されているご自身の考え方には感銘と共感を覚える次第です。

私も本年でJMCAの理事長就任4年目を迎えます。昨年、満100歳を迎えられた裏千家千玄室大宗匠をトップに、アドバイザリーボードのサントリーホールディングス会長佐治信忠氏や大和ハウス最高顧問の樋口武男氏のご支援のもとにSDGsの趣旨に賛同していただける方々と共に、地球規模で考え、"Let's save the earth!"をテーマに、来たる万博に向かって、あらゆる角度から地球の変化を捉えた問題に取り組んで参ります。

大阪万博シニアアドバイザーの方々の中には、大﨑洋氏はもとより安藤忠雄氏やコシノジュンコ氏、桂文枝氏、千宗室氏など、少なからず私のお知り合いの方々が就任されており、私が代表取締役会長を務めているセキセイ株式会社も大阪府・大阪市のヘルスケアパビリオンのReborn challengeのコーナーに大阪府経営合理化協会のブースがあり、その中で期間限定の出展が決まり、JMCAからの応援にも期待しています。

なんと言っても、2025年大阪万博は、大阪の良さ、日本の良さを世界に発信出来る絶好の機会であり、JMCAアドバイザリーボードの千玄室大宗匠が常に語られている「和敬清寂」の精神を、そして大阪が育んだ、お笑いの文化と共に世界に発信出来ることを願っています。そんな意味からも、大﨑洋氏の通称お笑いパビリオンに、期待申し上げる次第です。

（JMCA理事長 西川雅夫記）

内閣府認証 NPO法人 ジャパン メディカル ケア アソシエーション

理事長 西川雅夫

（セキセイ株式会社 代表取締役会長）

1948年大阪生まれ。1971年 甲南大学卒業後、現リコージャパンに入社。1972年 セキセイ入社後、副社長を経て、1985年 代表取締役社長に就任。2013年 代表取締役会長就任。2020年JMCA理事長に就任、ODC大阪デザインセンター理事、DAS総合デザイナー協会デザイナー会員、大阪商工会議所生活用品部会副部会長、2009年春 黄綬褒章受章。

2022年秋 旭日双光章 叙勲受章

吉本興業ホールディングス 元 代表取締役会長

実業家・芸能プロモーター 大﨑 洋

1953年大阪府堺市生まれ。関西大学社会学部卒業後、1978年に吉本興業株式会社入社。数々のタレントのマネージャーを担当。2007年に代表取締役副社長、2009年に代表取締役社長、2019年に代表取締役会長に就任。2023年代表取締役会長を退任。

2018年2月に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「わくわく地方生活実現会議」委員に就任。2019年には公益社団法人「2025年日本国際博覧会協会」シニアアドバイザーに就任。